

化学物質管理とリスクコミュニケーション ～PRTR大賞受賞と受賞後の活動～



Nittobo



化学物質リスクコミュニケーションに関する事例発表
平成20年12月17日(木)14:20
株式会社朝日ラバー福島工場 食堂にて

PRTR大賞2007選考会

日東紡福島工場・第二工場 PRTR2007大賞受賞

PRTR大賞
Nittobo

PRTR大賞とは化学物質管理と地域とのコミュニケーションを積極的に実践している企業の活動を表彰するものです。

過去3回の大賞受賞企業：

2004年：コニカミノルタグループ

2005年：シャープ株式会社LSI事業部

2006年：住友化学株式会社

Nittobo



日東紡福島工場、福島第二工場を取り巻く環境



工場の化学物質管理とリスクコミュニケーション

I. 化学物質管理

化学物質管理委員会

新規資材購入・既存物質管理

化学物質パトロール

II. リスクコミュニケーション

モニター委員会

LTP測定法

環境施設見学会

Nittobo

化学物質管理組織(委員会)

化学物質パトロール → 化学物質管理委員

工場長

化学物質管理者

環境管理責任者

衛生管理責任者

産業医のパトロール

化学物質事務局

各課
衛生管理者

各課
衛生管理者

各課
衛生管理者

衛生工学
衛生管理者

産業医

各製造部及び課

Nittobo



化学物質パトロール

①化学物質委員会パトロール
化学物質管理委員のメンバーで定期にパトロールを実施
(薬品・試薬等の保管から局所排気装置の設備・使用状況まで幅広くチェック)

②産業医による
職場パトロール
産業医と化学物質事務局によるパトロール
(毎月、計画的に巡回)



工場の化学物質管理の取組

PRTR法よりも厳しい自主管理

④ PRTR法の据切り1tonよりも厳しい
0.5tonでの年間取扱等の管理を実施

⑤ 更に福島県適正管理指針により、
PRTR物質以外のアセトン、メタノール等
100kg以上の取扱量等を把握

Nittobo

新規購入物質リスクアセスメント表						
商品名		化学物質名				
商品名:						
1. 購入部署で評価する項目						
A. 取扱い頻度		点数	○印			
毎日扱う	5					
週間に1回程度	3					
月間に1回程度	1					
C. 取扱い従事者の数	点数	○印				
50人以上	8					
30人以下	5					
10人以下	3					
1人	1					
2. 環境管理責任者で評価する項目		点数	○印			
E. 含有量		点数	○印			
3. 化学物質管理制度で評価する項目		点数	○印			
G. 有害性の種類		点数	○印			
急性毒性		点数	○印			
がん原生		点数	○印			
変異原生		点数	○印			
生殖毒性		点数	○印			
奇形性		点数	○印			
腐食・刺激性		点数	○印			
感作性		点数	○印			
慢性毒性		点数	○印			
その他の有害性		点数	○印			
化学物質リスク評価		点数	○印			
評価基準		点数	○印			
リスクが容認される		点数	○印			
ばく露を防止し低減するための措置を必要とする		点数	○印			
リスクが容認できない		点数	○印			
D. 使用量のフックター		点数	○印			
多量に毎日使用する	1					
多量だが年に1回程度の使用	0.7					
少量だが毎日使用する	0.5					
実験段階で微量に毎日使用する程度	0.3					
F. 用途別評価		点数	○印			
a. 1法規制対象外の物		点数	○印			
有	0					
2. P R T R、環境ホルモン対象物質	0					
害	1					
3. 運搬対象物質	2					
4. 物質、物質組成物、被覆、水銀、各樹脂	3					
b. ①既製物の発生なし	0					
②既製物の発生あり	1					
③既製物の発生あり	2					
④既製物の発生あり	3					
3. 化学物質管理制度で評価する項目		点数	○印			
H. 有害性の種類		点数	○印			
急性毒性	8					
がん原生	6					
変異原生	4					
生殖毒性	4					
感作性	4					
慢性毒性	2					
感作性	2					
感作性	2					
その他の有害性	2					
H. 化学物質リスク評価		点数	○印			
評価基準	H = (A + C + G) × B × D	点数	○印			
評価基準	H	レベル	○印			
リスクが容認される	10点以下	I				
ばく露を防止し低減するための措置を必要とする	11~20	II				
リスクが容認できない	21点以上	III				
環境影響評価(購入を許可しない場合)						
リスクが容認される						
1) 各有害性の指標でなく、a~dの評価によるもので許可する						
2) 各有害性の目盛値が1以下でなく、a~dの評価が目盛値であるので不許可とする						
a~dのとする						
く、a~dの許可とする						
日 東 純 標 準						
標準採用: 庫番B400-2 改訂番号: A						

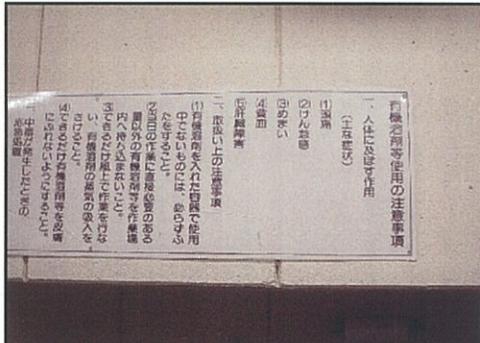
既存購入資材等調査一覧(原材料の法)												
MSDS情報(記載又は○印は該当、×印は非該当)												
化審法No.	危険・有害性情報	労安法	安衛法通知物質	消防法	毒劇法	ACGIH	感染法	廃棄物法	PRTR法	県通正管理指針	環境ホルモン	その他
2-184、2-207	引火性、急性毒性	引火性、有害性	×	4類アルコール	×	○	×	○	×	○	×	船舶安
7-129	非該当	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
記載なし	非該当	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
1-374	腐食性、急性毒性	変異原生	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×
登録済	腐食性、急性毒性	腐食性	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×
登録済	酸化性、刺激性	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
1-374	腐食性、急性毒性	変異原生、腐食性	2O	×	○	○	×	○	○	×	×	×
登録済	腐食性、急性毒性	腐食性	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×
登録あり	非該当	×	×	4類4石	×	×	×	○	○	×	×	×
2-358	非該当	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×
非該当	非該当	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
7-172	非該当	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	化審法第 根化学
7-327	非該当	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×
7-1207	—	1	13 アデカトル	SO-120	旭電化工業株式会社	1993/8/30	記載なし			7-327		

化学物質の徹底管理

安全対策
(MSDSの現場設置、有機溶剤等の表示、取り扱い注意事項表示の徹底)



環境対策
(溶剤置場、廃液置場の分離槽設置や緊急揚水ポンプによる構外への流出防止策)



化学物質関連環境教育

I . 計画的な化学物質関係の資格取得



有機溶剤作業主任者、特化物質作業主任者、局所排気装置定期自主検査者、衛生管理者、衛生工学衛生管理者、作業環境測定士等

※資格取得後の勉強会
資格取得者は社内において勉強会を開催し、水平展開を実施

II . 職場での化学物質教育



雇入時、職場移動時における化学物質に対する安全教育を実施

Nittobo

工場の化学物質の削減

- ①ホルムアルデヒドの代替化(完了)
- ②ジクロロメタン代替化(2000年度比で1/10に削減)
- ③フッ素排出量の削減(再生利用による回収率UP)

毎年、行動目標を
掲げ活動実施

化学物質の
取扱量、保管量、
排出量等を削減

行動目標	達成目標
1)省エネルギー	1)エネルギー消費割合 1%削減
2)廃棄物削減	1)廃棄物量 5%削減 2)リサイクル率 5%向上 3)廃棄物分別実績 5%削減
3)環境法遵守	1)第二エネ適合開発促進
4)環境影響評価の 防止	1)完成・新設可能性場所の管理と 改善
5)節水活動の推進	1)給排水資源量 CO ₂ 取得実績 2)給排水資源量 5,000 t/a削減 3)フック等の漏水出量 5%削減 4)結合、貯留の活性化(改善実績)
6)化学物質の削減	1)PRTR 自由情報更別削減 5%
7)周辺地域対策	1)地盤堆積削減への協力的参加 2)園芸業者・農家会員への実施・普及
8)その他環境改善	1)緑地面積、緑地体積の増加実績 2)グリーン運送の推進

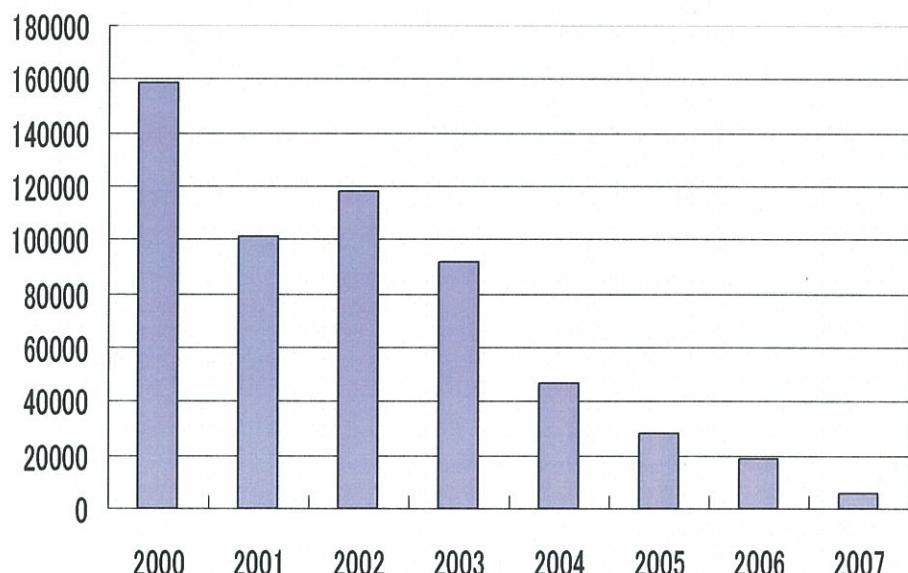
日東紡 福島工場
環境方針



Nittobo

このカードは再生紙を使用しています。

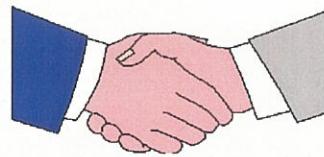
ジクロロメタン使用量推移



リスクコミュニケーション

福島工場、第二工場共に住宅街に囲まれた工場

企業の発展



地域との共生が
必要不可欠



リスクコミュニケーションの重要性

Nittobo

工場のリスクコミュニケーション

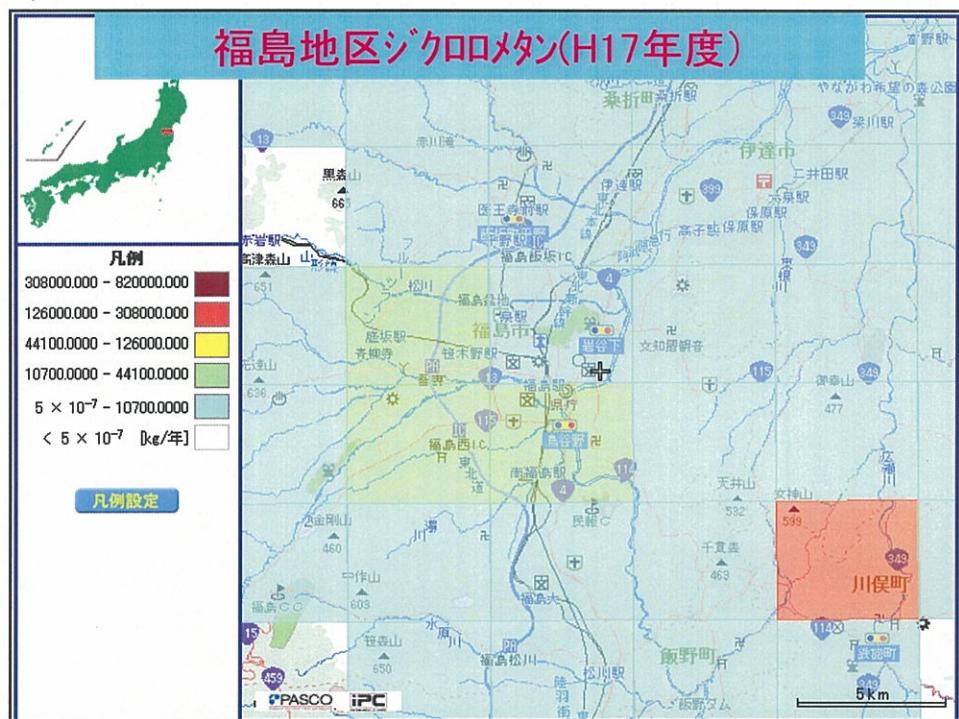
福島工場、第二工場では「モニター委員会」と称し、
工場近隣住民に「環境に関する説明会」としてリスク
コミュニケーションを毎年2回定期的に8月と12月開催。
約40年近く継続実施。

モニター委員会概要

- ①地域の町会長及び役員
(地区で選出)
- ②工場の環境測定結果の
報告(LTP測定)
- ③環境トピックス
- ④質疑応答
- ⑤アンケート



Nittobo



ガラス繊維とアスベスト

最近、報道紙上に多いに載かれている「アスベスト」について皆さんはご存じでしょうか?、福島工場で生産されているガラス繊維（グラスファイバー）とアスベストとは全く違う物のものであり、ガラス繊維には有害性、危険性全くありません。IARC（国際発がん研究会議）での調査による結果を下の一観察表に記載しました。

分類	内 容	品 目
グループ1	人に対して発がん性がある。	たばこ、アスベスト
グループ2A	人に対して発がん性ありうる。	ダイーゼル排気ガス、紫外線、
グループ2B	人に対して発がん性の可能性がある。	ウレタン、コーヒー、
グループ3	人に対して発がん性はない。	ガラス繊維、ナイロン、紅茶、

上の表からみて、コーヒーよりもガラス繊維は安全なものです。立派からみなさん安心してください。尚、工場で営むる住宅への導入影響も問題あります。然地営業におけるガラス繊維の認定、然地営業で1リットル中に1本以下（複数）でした。（ガラス繊維は規制範囲外に位置せん。アスベストの規制範囲は1リットル中に10本が規制範囲の規制範囲です。通常の営業でも0.2～0.6本程度は有在します。）

アスベスト
(肺鏡で見たアスベスト)。

アスベストは主に鉱業家の被災地として使用されてきました。また、被災を受けた患者さんはアスベストによる原因や問題として長期的に治り、長い間の方々が大半です。一般家庭においてはアスベストによる原因の心配はありませんのでご安心下さい。

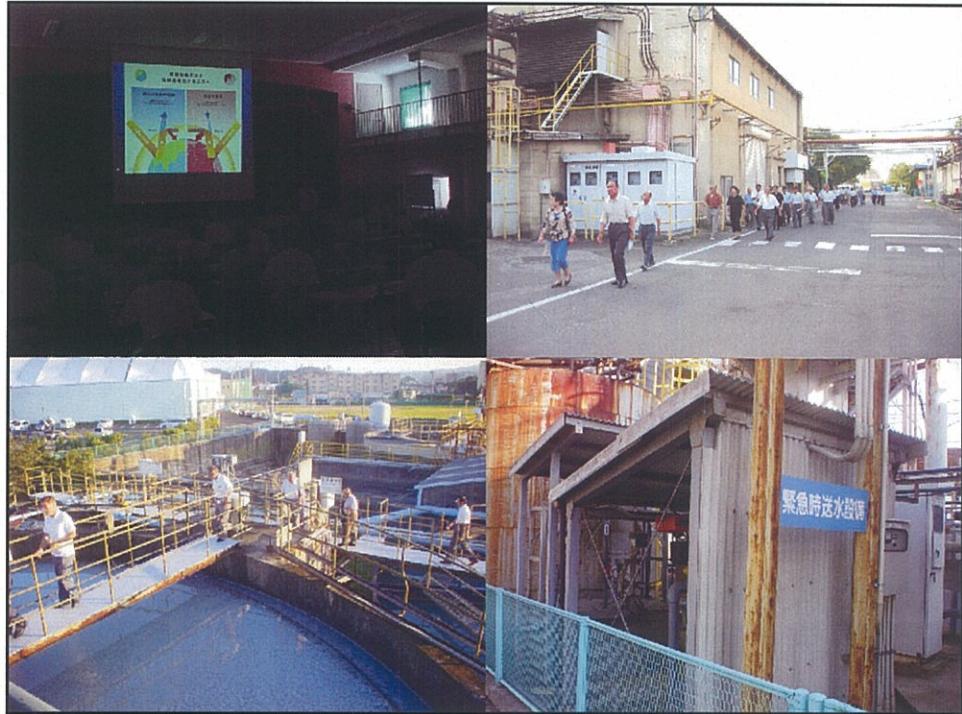
アスベスト基礎知識

アスベストは天然の植物繊維です。火山から噴き出た岩盤が水で冷やされたとき、特殊な条件のもとで、アスベストの結晶が繊維状に成長していくのです。高温の灰、土の中の水分が蒸って、纖維がどんどん伸びていくのを見ています。こうしてできたアスベストを、石炭と同じように磨いて使ってきました。だから、アスベストは非常に柔軟です。

アスベストは蛇紋岩系クリソタイル、（白石綿）、角閃石系アモサイト、葉石綿、藍銅石クリソタイル（青石綿）が代表的な矿物学名であります。アスベストは耐熱性、耐酸性、耐熱性、耐熱性で、現在ではクリソタイル、アモサイトは使用量が最も多く、クリソタイルにおいても1%以上、含む製品の製造が実行されています。

アスベストの中でも最も有害なのがクリソタイル、がんで、アモサイトであり、最も危険なのがクリソタイルと言われています。

アスベストの名前の由来、
石棉という名前のとおり、綿のように柔らかな繊維ですが、繊維の一種で、火にくべても燃えません。アスベストという言葉は、「消えこができない」あるいは、「永遠不滅」という意味のヨーロッパ語から来ています。



地域住民の立場になって

地域の環境濃度

出口濃度 高

拡散効果

着地濃度 低



着地濃度の測定は困難である。

それを可能とした方法がLTP測定法

Nittobo

LTP測定法(lime treated filter paper method)

石灰水に浸して乾燥させた濾紙を大気中に放置して、濾紙に吸着したフッ素を測定する方法。長期間におけるその地域の暴露量を測定できる方法。

自然採取法であり、風向き等の影響を大きく受ける欠点もあるが、それが実際の蓄積量となることから採用。



モニター委員会の注意事項

- ・タイムリーな環境情報を提供
- ・わかりやすい用語の説明も
- ・質問や疑問については必ず、回答
- ・懇親会においても、積極的に話しをして聞き出すようにする
- ・モニター委員会終了後、意見や苦情等を集約し、次回に報告

Nittobo

地域への貢献活動

ボランティア活動

- ・地区の用水路の清掃作業
- ・通路の除草作業





リスクコミュニケーション広報活動

工場モニター委員会の広報

・福島県大気環境グループ主催による
「リスクコミュニケーションに関する事例発表会」



環のくらしへなんどう？ 環のくらしを楽しもう！ 国や地方自治体の取り組み 環のくらし資料館

HOME > 環のくらしを楽しもう！ > CO₂削減／ライトダウンキャンペーン > 参加施設一覧

CO₂削減／ライトダウンキャンペーン

参加施設一覧

【北海道】 【青森】 【岩手】 【宮城】 【秋田】 【山形】 【福島】

【福島】

- 日東紡績株式会社 福島工場(日東紡看板) (実施日:6月21日 7月7日)
<http://www.nittobo.co.jp/enviro/index.htm>

【福島】

- 富士通アイソテック株式会社 第五組立棟屋上設置社名看板の照明 (実施日:6月21日 7月7日)
<http://jp.fujitsu.com/group/fit/>

【福島】

- 福島製鋼株式会社 本社(オフィース・厚生施設照明) (実施日:6月21日)
<http://f-seiko.co.jp>

【福島】

- 東北地区森永牛乳販売 (実施日:6月21日 7月7日)

日東紡 福島工場・第二工場 CPRTR 2007

「子ども科学教室開催」

6月5日世界環境デーを記念して、環境基金に対する関心を高め、啓発活動を盛んに実施する世界環境デー（World Environment Day）「環境の日」です。

この日から約二ヶ月間の環境月間として、各企業や自治体、最近では一般家庭まで参加した様々な環境基金活動が行われています。

日東紡福島工場・第二工場でも環境基金のための様々な活動・対策を実施していますが、今年から周辺地域への環境活動を積極的に実行する機会として、「子ども科学教室」を開催することになりました。

子ども科学教室の中では、環境を守る省エネ推進活動「スマイルミネーション!!」に参加するため、「麻糸」から「ろうそく」を作つて頂きさせ、出来上がったどのろうそくの火で家庭用扇風機を回してみましたか？また、日東紡で製造しているガラスファイバーと同じ原料でスライムを作ったり、みんなで楽しく科学(化学)実験を行いたいと思います。

みんなで作ってみよう！

※注：スマイルミネーション
毎年、夏至の日を中心として20時～22時迄屋外イルミネーション等の灯りを消して省エネを行いましょう！という環境基金活動です。

年々参加者が増加し、昨年は800,000kwh、今年は2,920,000kwhの電力量の節減が実現されました。(2,920,000kwh、この電力量は1,000世帯の人達が一年間も生活できる電力量です。たったこれだけの時間の消灯で、こんなに大きなエネルギーが省エネできます。皆さんも是非、参加してみてください。)

今年は夏至の日（6月21日）と満潮潮汐エット初日（7月7日）の20時～22時まで新水ドアを始め、吉ビルやコンビニ等のイルミネーションが消灯します。

子ども科学教室について

実験：① 麻糸からのろうそく作り
② ガラス原料からのスライム作り
③ その他のたくさんの楽しい科学（化学）実験

見学：工場における環境施設見学
① ガラス炉の熱の有効利用について
② 燃料から出ているものは何？
③ 排水を利用しての○○の育成

たくさんの科学(化学)実験、マジックを用意しました。日常においてなかなか出来ないようなことがばかりです。時間の許す限り多くの実験を経験して頂き今後の学習に少しでもお役に立てればと思います。





地球に愛を 子どもに愛を

ペットボトルのキャップを集めて
世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

ゴミとして燃焼処理されると
キャップ400個で0.15kg
のCO₂が発生します。

ペットボトルのキャップを回収
の子どもにワクチンを届けます。

あなたの行動が世界の子どもと地球の未来を創ります！
小さなキャップです。分けねば資源！
リサイクルして循環ある材料に。

ペットボトルのキャップをみんなで集めよう！
キャップは400個で10円になります。
ボリオワクチンは1人分20円！
キャップ800個で一人の子どもがワクチンができます。

ECOCAP
INFO(人材育成課)
エコキャップ推進会
ECOCAP
TEL. 03-5541-0000 FAX. 03-5541-0005
http://www.ecocap.jp

**キャップを回収して
ワクチンに！**

マジックはOK！

シールはダメ！

ペットボトルはラベルをはがして、ボトルはつぶす！

空き缶は必ず圧縮梱張！

環境保全事務局
'081015



